

栃木県作業療法士会福祉用具部主催

# 第20回 自助具コンテスト

## -生活を豊かにする秘密-

応募期間：令和7年8月1日～10月15日

### 応募資格

- 道具を利用する当事者またはその家族
- リハビリテーション・医療・介護・福祉関係者・学生

### 応募内容

- 生活をより便利で快適にするために考案された道具
- 自立した生活を目指す上で工夫された福祉用具や自助具

### 応募方法

- 右のQRコードから用紙をダウンロード
- 必要事項を記入し、下部の宛先にメール



### 表彰式

- 第1回栃木県リハビリテーション学術大会内で発表

### 応募者特典



蓋の置き場にも困らない！  
落下防止チェーン付片手で開けられる  
ペットボトルオープナー

### 入賞



最大10000円分  
ギフトカード  
プレゼント!!

お問い合わせ

〒320-8503 栃木県宇都宮市駒生町3337-1 障害者自立訓練センター駒生園 加藤由里宛  
TEL：028-623-6310 FAX：028-623-6325 E-MAIL：katouy01@tochigi-riha.jp

障がい者・高齢者の生活や遊びに役立つ

とちぎ福祉用具・自助具

“発明・工夫・適応”コンテスト

募集要項

主催：一般社団法人 栃木県作業療法士会

福祉用具部

はじめに

一般社団法人 栃木県作業療法士会では、障がい者や高齢者の生活を豊かにするために発明・工夫した福祉用具や便利な道具を発掘して、優れた作品を表彰するとともに作業療法の普及・啓発を促進することを目的に2005年から「**とちぎ福祉用具・自助具“発明・工夫・適応”コンテスト**」を開催しています。

また日本作業療法士協会では、当事者の生活や地域の取り組み、用具等の開発に積極的に関わっていけるOTの育成を支援するため、「**生活行為工夫情報事業**」を実施し、その成果や事業の在り方等について検討を行なっています。本事業は、高齢者や障がい者をはじめ生活行為に不自由さを感じているすべての住民が、自ら有する能力を発揮し自分らしい生活を継続することができるよう、当事者や関係者に対して生活行為の課題解決に向けた工夫情報を提供するとともに、身近な地域でOTによる相談が受けられる体制づくりを実施するための基盤づくりを行うことを目的としています。

栃木県作業療法士会福祉用具部では「**とちぎ福祉用具・自助具“発明・工夫・適応”コンテスト**」と「**生活行為工夫情報事業**」とを協働して取り組み、皆様から得られた“生活の中の小さな知恵”を栃木県内、そして全国に届けていきたいと思っています。

## コンテストの目的

- (1) 障がい者・高齢者に対する理解と認識を深める。
- (2) 障がい者・高齢者に役立つ生活用品等の開発に資するとともに「障がい・老い」を身近に感じていただく機会とする。
- (3) リハビリテーションの一翼を担う「作業療法・作業療法士」についての理解を深める機会とする。

## 応募資格

- (1) 応募資格：生活の中で道具を工夫して使用する当事者、家族、その道具の作成者  
リハビリテーション、医療・福祉・介護関係者、学生
- (2) 応募内容：生活の中で少し工夫したことで使いやすくなった道具、使ってみて便利だと思った道具、障がいをもつ方や高齢の方の生活をより便利でより快適でより豊かにするために考案された道具、作品、福祉用具（自助具）等
- (3) 応募方法： **メール** にて受付を行います。

書類審査による採点となりますので、**作品本体の郵送は不要**です。

応募に必要なもの

①応募用紙：必要事項を記入してください。

※栃木県作業療法士会ホームページから印刷し、使用してください。

②作品写真：作品の全体像や特徴が分かるように最大10枚まで写真を添付してください。

使用場面や作成風景の写真は必須ではありません。

③作品本体：不要です。

4.応募期間：令和7年8月1日（金）～令和6年10月15日（水）

★先着10名様に県士会オリジナルグッズをプレゼントします。

（5）応募先：

〒320-8503 栃木県宇都宮市駒生町3337-1

栃木県立リハビリテーションセンター内

障害者自立訓練センター 駒生園 加藤 由里 宛

E-mail： katouy01@tochigi-riha.jp

## 審査・表彰

（1）審査：当審査会における審査により、最優秀賞1点、優秀賞2点を選定いたします。

（2）表彰：受賞者には、賞状・賞品を贈呈。受賞者には後日ご連絡させていただきます。

なお栃木県作業療法学会および栃木県リハビリテーション学術大会にて入賞作品を紹介する予定です。表彰および展示については学会の開催形式に応じて検討し、決定後に改めてお知らせ致します。

＊ご参考までに、アイデア作品の一部を紹介いたします。

## 作品例

♪ 握りを太くしたスプーン

握力の弱くなった人でも楽にスプーンを持って食事ができるようになりました！



### ♪ 留め具をマジックテープに付け替えたシャツ

シャツを一人で着られるようになりました！



### 前年度の入賞作品

- ・ スイッチ自助具
- ・ ピタッと上がるん
- ・ ラバーバランサー



### 応募していただいた作品・アイデアの活用について

応募いただいた福祉用具・自助具作品や発明・工夫・適応のアイデアは、栃木県作業療法士会が一括管理します。皆様から提供いただいた作品とアイデアは、作業療法の実践の場やリハビリテーションを受ける皆様に役立てるため、情報を公開することがありますことをご了承ください。個人に連結可能な情報の取り扱いについては、倫理要領に則り、管理させていただきます。

#### 活用例①

栃木県作業療法士会のホームページへの掲載

## 活用例②

日本作業療法士協会「生活行為工夫情報事業」への登録推進のための活用

## 問合わせ先

〒320-8503 栃木県宇都宮市駒生町3337-1

栃木県立リハビリテーションセンター内

障害者自立訓練センター 駒生園

TEL： 028-623-6310 FAX：028-623-6325

E-mail： [katouy01@tochigi-riha.jp](mailto:katouy01@tochigi-riha.jp) 担当者：加藤 由里

2025年7月8日作成

とちぎ 福祉用具・自助具“発明・工夫・適応”コンテスト2025 応募用紙

ふりがな

お名前：

年

齢：

性別：

提出日：令和

年 月 日

ご住所： 〒

電話番号：

E-mail：

所属または学校名：

※ご記入いただいた個人情報は、本コンテストの目的に使用し、他の目的には一切使用致しません。

★応募作品について：可・不可のどちらかに丸を付けて下さい →

士会HPへの掲載： 可 ・ 不可

次年度パンフレット等への掲載： 可 ・ 不可

|             |                                                                                                                              |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 作品名         |                                                                                                                              |
| 表題          |                                                                                                                              |
| 事例概要        | <p>【どんな人】</p> <p>【何で困っている】</p> <p>【何をどう工夫した】</p> <p>【どうなった(達成度)】</p>                                                         |
| 疾患          |                                                                                                                              |
| 心身機能・構造の特徴  |                                                                                                                              |
| 疾患・障害の種別    | <p>骨関節疾患 中枢神経系疾患 神経筋系疾患 内部疾患（循環・呼吸・代謝）</p> <p>感覚器疾患 運動発達系疾患 精神心理系疾患 高齢期疾患 その他の疾患</p>                                         |
| 活動の種類       | <p>ADL：食事/排泄/入浴/整容/更衣/コミュニケーション/就寝/起居/移動/その他</p> <p>IADL：買物/料理/洗濯/掃除/金銭管理/服薬管理/自動車/公共交通機関/その他</p> <p>就労・教育・余暇・介助用・その他（ ）</p> |
| 活動・参加の制限の特徴 |                                                                                                                              |
| 用具の種類       | 市販品 改良品 個別製作品 開発品 その他                                                                                                        |

|              |                           |
|--------------|---------------------------|
| 工夫した<br>ポイント |                           |
| 利用上の<br>留意点  |                           |
| 使用した製品       | 材料名/メーカー名：<br>入手先：<br>価格： |
| 利用者の声        |                           |
| 備考           |                           |

|       |       |                         |
|-------|-------|-------------------------|
| 用具の説明 |       | 大きさ                  重さ |
| 画像    | 用具の外観 |                         |
|       | つくり方  |                         |

|      |
|------|
| 活用場面 |
|------|

【記載内容の補足】

★表題：内容が分かるような記載

（例）○○で困っている○○の方に○○を用いた(工夫した)事例

★心身機能・構造の特徴：生活行為の困難さに影響していた心身機能・身体構造の特徴

（例）両手は動くが、遠くの位置まで伸ばすことができない。情報が多いと混乱しやすい。

★活動・参加の制限の特徴：活動・参加の困りごとの内容(遂行方法や環境面)

（例）手先が不器用で、上手く線を引くことができないため勉強がしづらい。

★用具の種類：市販品一般製品で改良していないもの、改良品市販品を改良し活用しやすく調整したもの  
個別製作品障害特性に合わせ個別に製作したもの、開発品アイデアから製品化されたもの

★利用上の留意点：使用上の注意点、耐久性、価格、衛生面といった留意点

★利用者の声：用具の使用前の困りごと、導入後の使い勝手、使用頻度、感想

★用具の説明：どのような特徴のある用具なのか、用具の説明、作り方、設置の仕方、活用場面など

（例）対象者に合わせてカットし接着する。○○に設置する。

★画像：最大10枚、各項目1枚以上で、その用具の状況が分かるような写真をお願いします

応募用紙 送付先

〒320-8503 栃木県宇都宮市駒生町3337-1

栃木県立リハビリテーションセンター内

障害者自立訓練センター 駒生園 加藤 由里 宛

e-mail: katouy01@tochigi-riha.jp